

# ホルムアルデヒド水溶液(くん蒸作業) 取扱いマニュアル

## 発がん性があるなど、健康に有害な物質



吸入・飲み込みは  
生命に危険!



発がん性  
あり



火気・熱源  
絶対厳禁!

CAS番号 50-00-0

管理濃度(2013年-ホルムアルデヒドとして)0.1ppm

### ■ 災害事例

ホルマリンによるくん蒸消毒作業を行っていたところ、ホルムアルデヒドガスが漏れ、急性中毒症状を起こした

### ■ 人体への影響

- ・吸入、眼・皮膚への付着は極めて有害
- ・長期のばく露で、呼吸器系・中枢神経に重篤な障害
- ・長期吸入で、鼻腔がんのおそれ



鼻腔がんのおそれ

### ■ 性質と危険性

- ・無色の液体で、特異臭があり、37%水溶液の沸点は98℃、引火点は85℃
- ・ホルムアルデヒド水溶液は6～9%のメタノールを含有するので、その蒸気が空気と混合すると爆発



### ■ 取扱い作業上の注意

設備・保護具を含むばく露防止措置の徹底が必要



- ・作業を始める前には換気装置を稼働し、作業終了後もしばらく稼働
- ・作業場所では防爆型の加熱機を使用
- ・休憩室にはHEPAフィルター付真空掃除機を準備、作業終了後の保護衣等の洗浄を徹底—但し、汚染保護衣の持ち帰りは禁止
- ・作業場所及びその周辺の火気は厳禁



HEPAフィルター付真空掃除機

### ■ 使用すべき保護具

- ・ホルムアルデヒド用吸収缶付き防毒マスク
- ・ゴグル型の保護めがね
- ・ホルムアルデヒドを透過しにくい化学防護手袋(例:ニトリルゴム製)



ホルムアルデヒド用吸収缶付き防毒マスク



ゴグル型保護めがね



ニトリルゴム製化学防護手袋

### ■ 火災時の対応

- ・火災で刺激性・腐食性・毒性ガス等が発生



消火には粉末消火器、炭酸ガス消火器、噴霧水を使用



粉末消火器

- ・消火作業の際は適切な空気呼吸器、完全な防護服を着用



### ■ 応急処置の仕方



- ・現場から新鮮な空気のある場所への移動
- ・目や皮膚→直ちに水で十分に洗浄
- ・汚染衣類は直ぐに脱衣(汚染衣類は不浸透性のポリ袋に入れ作業場から所定の場所に搬出する)
- ・早急に医療機関で受診(SDSの持参)



### 救急時の搬送先医療機関



名称:

電話: